



## 2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 GMOフィナンシャルゲート株式会社

コード番号 4051

URL <https://gmo-fg.com/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 杉山 憲太郎

問合せ先責任者（役職名） 取締役 コーポレート サポート本部本部長（氏名） 玉井 伯樹（TEL）03(6416)3881

半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	9,046	△2.1	1,382	48.5	1,379	49.2	1,021	57.6	1,034	66.4	1,021	57.6
2024年9月期中間期	9,244	—	931	—	924	—	648	—	621	—	648	—

	基本的1株当たり 中間利益		希薄化後1株当たり 中間利益	
	円	銭	円	銭
2025年9月期中間期	125	09	124	82
2024年9月期中間期	74	97	74	57

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2025年9月期中間期	12,466		5,902		5,653		45.3	
2024年9月期	14,206		5,890		5,627		39.6	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 9 月期	—	0.00	—	62.00	62.00
2025年 9 月期	—	0.00			
2025年 9 月期 (予想)			—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	22,200	18.7	2,020	31.9	2,002	32.3	1,316	22.4	1,316	29.9	159	25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期中間期	8,339,480株	2024年9月期	8,339,480株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	84,662株	2024年9月期	19,210株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年9月期中間期	8,272,572株	2024年9月期中間期	8,293,800株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託 (BBT及びJ-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2024年9月期 18,800株 2025年9月期中間期16,920株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当中間連結会計期間（2024年10月1日～2025年3月31日）の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	増減率(%)
売上収益	9,244,148	9,046,196	△2.1
営業利益	931,263	1,382,864	48.5
税引前中間利益	924,400	1,379,388	49.2
親会社の所有者に帰属する 中間利益	621,770	1,034,854	66.4

## a. 売上収益

売上収益は9,046,196千円(前年同期比2.1%減)となりました。

当中間連結会計期間は、季節性の影響により例年多くの加盟店決済取扱高が第1四半期連結会計期間比で伸びづらいう傾向があり、当第2四半期連結会計期間もその傾向がみられました。一方で、当第2四半期連結会計期間の後半に稼働が開始した日常的に利用する業種・業態の加盟店におけるキャッシュレス決済の利用が進み、同期間の後半に決済処理件数及びGMV（決済処理金額）が順調に拡大いたしました。

イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売においては、中小案件を中心に据置型端末である「stera terminal standard」及び「stera terminal unit」の設置が進んだものの、前中間連結会計期間における大口案件の影響から売上は反動減となりました。

リカーリング型売上においては、前述の日常的に利用する業種・業態における高稼働加盟店を中心にキャッシュレス決済の利用が進んだこと等により前中間連結会計期間比ではストック、フィー中心に順調に拡大いたしました。スプレッドについては、リスク軽減の観点から前第3四半期連結会計期間に開始した加盟店ポートフォリオの見直しにより、リカーリング型売上の中では緩やかな伸び率となりましたが、想定通りの売上成長を遂げることができました。

当中間連結会計期間の品目別売上は、以下のとおりです。リカーリング型はストック、フィー及びスプレッドの合計であり、括弧書きの数字はリカーリング型の内訳となります。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	増減率(%)
イニシャル	6,059,085	5,020,358	△17.1
リカーリング型	3,185,062	4,025,838	26.4
ストック	(818,678)	(986,580)	(20.5)
フィー	(1,695,922)	(2,301,558)	(35.7)
スプレッド	(670,462)	(737,699)	(10.0)
合計	9,244,148	9,046,196	△2.1

b. 営業利益

営業利益は1,382,864千円(前年同期比48.5%増)となりました。

高い営業利益成長の背景として、前中間連結会計期間と比較すると、①決済処理件数及びGMV(決済処理金額)の拡大に伴い利益貢献度の高いリカーリング型売上が伸長したこと、②今後導入を控える大口案件対応の進捗に伴い、利益率の高い開発売上が増加したこと、③イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売において利益率の高い端末の売上構成割合が上昇した等、の3点が挙げられます。なお、通期の営業利益計画に対しても順調な進捗となっております。

c. 税引前中間利益

税引前中間利益は1,379,388千円(前年同期比49.2%増)となりました。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は9,794,136千円となり、前連結会計年度末に比べ1,837,596千円減少いたしました。これは主に現金及び現金同等物が938,067千円、営業債権及びその他の債権が732,248千円減少したこと等によるものであります。非流動資産は2,672,504千円となり、前連結会計年度末に比べ97,553千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が143,775千円減少した一方で、のれん及び無形資産が130,348千円、有形固定資産が55,373千円、その他の金融資産が50,540千円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は12,466,640千円となり、前連結会計年度末に比べ1,740,043千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は4,475,254千円となり、前連結会計年度末に比べ1,758,548千円減少いたしました。これは主に営業債務及びその他の債務が1,045,823千円、その他の流動負債が703,756千円減少したこと等によるものであります。非流動負債は2,088,672千円となり、前連結会計年度末に比べ6,432千円増加いたしました。これは主にその他の金融負債が6,399千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は6,563,927千円となり、前連結会計年度末に比べ1,752,116千円減少いたしました。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本合計は5,902,713千円となり、前連結会計年度末に比べ12,073千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得により自己株式が487,545千円、剰余金の配当515,856千円により利益剰余金が同額減少した一方で、中間利益1,021,579千円を計上し増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ938,067千円減少し4,122,390千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果、獲得した資金は510,200千円(前年同期は516,888千円の獲得)となりました。これは主に営業債務及びその他の債務の減少1,066,822千円、その他の負債の減少703,756千円、その他の資産の増加231,705千円等により資金が減少した一方で、税引前中間利益の計上1,379,388千円、営業債権及びその他の債権の減少732,248千円、棚卸資産の減少390,234千円等により資金が増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果、使用した資金は391,620千円(前年同期は415,588千円の使用)となりました。これは主に無形資産の取得による支出339,312千円等により資金が減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果、使用した資金は1,056,647千円（前年同期は103,187千円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払額516,165千円、自己株式の取得による支出500,521千円等により資金が減少したものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました2025年9月期通期連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。当社グループが立脚する対面キャッシュレス決済市場においては、行政による推進や決済手段の多様化、訪日外国人数の増加も追い風として、キャッシュレス決済を導入する加盟店は拡大しております。そのような環境の下、当社グループは加盟店のニーズに合った決済端末機器の販売、決済処理センターの増強、加盟店及びアライアンス先の新規獲得等に注力し、中長期的な売上収益及び営業利益の成長を継続することを目指しております。

2025年9月期の通期連結業績予想については、売上収益22,200百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益2,020百万円（前年同期比31.9%増）、税引前利益2,002百万円（前年同期比32.3%増）、当期利益1,316百万円（前年同期比22.4%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益1,316百万円（前年同期比29.9%増）を見込んでおります。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		5,060,458	4,122,390
営業債権及びその他の債権		3,166,426	2,434,177
棚卸資産		3,170,105	2,779,870
その他の金融資産		13,056	9,372
その他の流動資産		221,685	448,324
流動資産合計		11,631,732	9,794,136
非流動資産			
有形固定資産		214,250	269,623
のれん及び無形資産		1,623,274	1,753,622
その他の金融資産		223,730	274,271
繰延税金資産		501,746	357,970
その他の非流動資産		11,948	17,015
非流動資産合計		2,574,950	2,672,504
資産合計		14,206,683	12,466,640

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		3,672,285	2,626,462
その他の金融負債		68,056	138,748
未払法人所得税等		521,671	231,028
引当金		263,027	474,010
その他の流動負債		1,708,761	1,005,005
流動負債合計		6,233,803	4,475,254
非流動負債			
借入金		2,000,000	2,000,000
その他の金融負債		62,396	68,796
引当金		10,647	10,680
その他の非流動負債		9,196	9,196
非流動負債合計		2,082,240	2,088,672
負債合計		8,316,043	6,563,927
資本			
資本金		1,638,680	1,638,680
資本剰余金		1,810,751	1,804,647
利益剰余金		2,302,216	2,821,214
自己株式		△123,703	△611,249
親会社の所有者に帰属する持分合計		5,627,943	5,653,292
非支配持分		262,695	249,421
資本合計		5,890,639	5,902,713
負債及び資本合計		14,206,683	12,466,640



## (2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

## 要約中間連結損益計算書

(単位：千円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上収益		9,244,148	9,046,196
売上原価		△6,543,482	△5,647,354
売上総利益		2,700,665	3,398,842
販売費及び一般管理費		△1,769,553	△2,038,170
その他の収益		150	22,514
その他の費用		—	△322
営業利益		931,263	1,382,864
金融収益		21	5,714
金融費用		△6,884	△9,190
税引前中間利益		924,400	1,379,388
法人所得税費用		△276,064	△357,808
中間利益		648,336	1,021,579
中間利益の帰属			
親会社の所有者		621,770	1,034,854
非支配持分		26,565	△13,274
中間利益		648,336	1,021,579
1株当たり中間利益(円)			
基本的1株当たり中間利益		74.97	125.09
希薄化後1株当たり中間利益		74.57	124.82

## 要約中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間利益		648,336	1,021,579
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融資産		—	—
純損益に振り替えられることのない項目		—	—
合計		—	—
税引後その他の包括利益合計		—	—
中間包括利益		648,336	1,021,579
中間包括利益の帰属			
親会社の所有者		621,770	1,034,854
非支配持分		26,565	△13,274
中間包括利益		648,336	1,021,579

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の所有者に 帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高		1,629,932	1,763,213	1,669,989	△123,529	4,939,605	200,925	5,140,530
中間利益		—	—	621,770	—	621,770	26,565	648,336
中間包括利益		—	—	621,770	—	621,770	26,565	648,336
配当金		—	—	△381,162	—	△381,162	—	△381,162
新株の発行(新株予約権の行使)		8,747	8,747	—	—	17,495	—	17,495
株式報酬取引		—	27,987	—	—	27,987	—	27,987
所有者との取引額合計		8,747	36,735	△381,162	—	△335,680	—	△335,680
2024年3月31日時点の残高		1,638,680	1,799,948	1,910,597	△123,529	5,225,695	227,491	5,453,186

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の所有者に 帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日時点の残高		1,638,680	1,810,751	2,302,216	△123,703	5,627,943	262,695	5,890,639
中間利益		—	—	1,034,854	—	1,034,854	△13,274	1,021,579
中間包括利益		—	—	1,034,854	—	1,034,854	△13,274	1,021,579
自己株式の取得		—	△998	—	△499,523	△500,521	—	△500,521
配当金		—	—	△515,856	—	△515,856	—	△515,856
株式報酬取引		—	△5,105	—	11,977	6,872	—	6,872
所有者との取引額合計		—	△6,103	△515,856	△487,545	△1,009,506	—	△1,009,506
2025年3月31日時点の残高		1,638,680	1,804,647	2,821,214	△611,249	5,653,292	249,421	5,902,713

## (4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

注記	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	924,400	1,379,388
減価償却費及び償却費	250,200	296,875
株式報酬費用	27,987	6,872
引当金の増減額(△は減少)	—	211,015
金融収益及び金融費用(△は益)	6,862	3,443
棚卸資産の増減額(△は増加)	△948,312	390,234
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△373,993	732,248
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	596,256	△1,066,822
その他の資産の増減(△は増加)	△90,052	△231,705
その他の負債の増減(△は減少)	301,373	△703,756
その他	3,973	1,916
小計	698,697	1,019,711
利息及び配当金の受取額	21	2,328
利息の支払額	△6,852	△7,163
法人所得税の支払額	△174,977	△504,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,888	510,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,017	△5,152
無形資産の取得による支出	△310,576	△339,312
投資有価証券の取得による支出	△99,994	—
敷金の差入による支出	—	△47,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415,588	△391,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	—
リース負債の返済による支出	△32,846	△38,285
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,495	—
自己株式の取得による支出	—	△500,521
配当金の支払額	△381,592	△516,165
その他	131	△1,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	103,187	△1,056,647
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	204,488	△938,067
現金及び現金同等物の期首残高	4,003,682	5,060,458
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,208,170	4,122,390

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、対面決済サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。